

学校番号	15	学校名	東部特別支援学校伊東分校	校長名	長崎 良夫
------	----	-----	--------------	-----	-------

【関係者評価】

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた。	C	あまり目標を達成することができなかった。
B	おおむね目標を達成することができた。	D	ほとんど目標を達成することができなかった。

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

(1) 学習環境を充実させ、健康で、安全・安心な学校生活を確立する。（守る）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	安全を最優先にした新校地環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・校内において児童生徒の重大事故発生がなかった。 ・計画に基づき定期的に予防的点検、環境整備が行われた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・移転にあたっては懸念も多かったが、現場は最善を尽くしていると思われる。 ・教員の協力、連携が良かったので素晴らしいと思った。今後も継続を。 ・広くなった校内を効率良く活用し落ち着いて過ごせる場所ができています。
イ	防災対応体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・10月末までに全職員へ学校周辺注意箇所、校内避難経路の周知が行われた。 ・2学期末までに新校地で避難訓練が実施された。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれが防災について意識していることは重要。地震等災害に備える動きが職員間で周知されてきていて良いと思った。
ウ	人権を尊重する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不適切な指導ゼロ ・学校生活でお互いに大切にされていると考える児童生徒が100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内参観で子どもたちへにとっても丁寧に接していると感じた。

(2) 専門性に基づく指導をとおして、自己実現に向けた教育の充実を図る。（育む）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	個のニーズに応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントに基づいた国語、算数・数学、自立活動年間指導計画が全教員によって作成された。 ・個に応じた指導に校内の教材教具が役立つと考える教員が8割以上。 ・情報機器活用で分かりやすい楽しいと感じる児童生徒が8割以上。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合った指導を工夫している様子は参観で見てとれた。
イ	系統性を考えたキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のふりかえりにつながる個に応じたキャリアパスポートが作成された。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の計画⇒実施⇒ふりかえりを個に応じて行い残すのは大変だが、その後につながる大事なもので頑張ってほしい。 ・キャリアを積み重ね成功経験を培うことが今後につながる大切なことである。

様式第5号

(3) 「地域と共に育つ児童生徒、地域の中で役割を果たす学校」をめざす。(つなぐ)

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	新たな方法での学校間交流推進	・小学部と伊東小学校との今後の交流計画が策定され、間接交流が開始された。 ・中学部で、環境整備等新たな共同学習が実施された。	B	A	・移転で大変な中で交流活動が続き始めて良かった。大集団にいることが刺激になる場合もあり、直接交流継続を。 ・急がずしかし着実に進めてほしい。 ・コロナ禍、移転と困難も多かったが、今後更なる交流の深化を。
イ	地域の分校理解推進 新たな地域資源の活用	・新校地周辺地域の方と共に学ぶ場が新たに企画され、湯の花商店街との交流活動も年2回継続実施された。	B	B	・新しい交流の場が増えつつあるようだ。たくさんの経験の場が生まれるよう望む。 ・関係者だけでなく地域一般の認知度が向上することが必要。具体的な工夫を。
ウ	地域のニーズ把握と教育力向上の支援	・地域からの支援依頼に校内資源を活用して対応できた。	B	A	・特支教員による支援の部分だけでなく、移転後広がった学校施設を関係機関が利用するなどの支援も希望する。

(4) 教職員が互いに支えあい高めあい、仕事を通して自己実現できる環境を作る。(高める 業務改善)

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	不祥事要因の分析によるコンプライアンス研修充実	・不祥事要因と防止のための注意点が共有され不祥事の発生がなかった。 ・交通安全上の注意点が共有され重大事故の発生がなかった。	A	A	・不祥事根絶研修が充実して行われていると感じる。
イ	移転考慮した学校行事等見直しと会議等の時間管理徹底	・学校全体で関わる行事が2割削減され、移転事務に携わる時間が確保された。 ・緊急時を除き職員会議、学部会、分掌課会60分超なし。	A	A	・働きやすい環境作りに取り組んでいることがよく分かった。
ウ	移転に伴う教育課程・指導計画作成および改善	・分掌や学部の経営計画に新校地での取組みが記述され、学校評価で、携わったと答える教員が8割以上。	A	A	・子供たちが生き生きと過ごせる環境作りを行ってきたことがよく分かった。活動の様子を毎回楽しく見せてもらっている。